

壁新聞にご利用ください。



新年のご挨拶

公益社団法人横浜港防犯協力会 会長 藤木 幸太



明けましておめでとございます。横浜水上警察署署員の皆様、横浜港防犯協力会会員の皆様、新春を新たな気持ちで期待をこめてお迎えになられたこと、心よりお慶び申し上げます。日頃より皆様方から、当防犯協力会の運営に多大なご協力を賜りまして、改めて厚くお礼申し上げます。さて、昨年一年を振り返りますと、元旦に能登半島地震が発生し大変な災害となりました。依然復旧には多大な時間がかかっており今回犠牲になられた方々に心よりお悔やみを申し上げます。また災害復旧活動に派遣された署員の皆様も大変なご苦労があったかと存じます。改めて今回の災害を教訓に防災意識を高めたければならないと痛感を致しました。

また経済状況では近年の物価上昇もあり皆様にとっても苦慮する場面が多々もあつたかと存じています。国際的にも引き続きの紛争が続いているウクライナ・中東情勢も世界全体に多大な影響を及ぼしております。この様な世情の中ではありますが、神奈川県下及び横浜水上警察署管内の刑法犯認知件数は前年比で増加傾向にあります。国内外より横浜を訪れる方々の増加もあり全てが要因では御座いませんが管内においては粗暴犯・窃盗犯等の犯罪発生が増加しているのが現状になり犯罪抑止の対策としてみなとみらい地区を中心と

発行 公益社団法人 横浜港防犯協力会 横浜市中区海岸通1-1 電話 (201) 2982 番 印刷所 (南)ハマ印刷 TEL(260)0266

新年のご挨拶

横浜水上警察署長 山田 高志



本年も《街頭犯罪等の抑制》・《特殊詐欺》抑止を中心とする防犯活動の強化により、横浜港と新港地区に犯罪のない、安全・安心な街づくりを推進していきたいと思っております。横浜港防犯協力会も近隣各署防犯協会及び各団体とも連携し街頭における防犯キャンペーン、水上パトロール等、犯罪撲滅に向けた活動を実施して参ります。引き続き横浜水上警察署をはじめとする関係諸団体の皆様より当防犯協力会にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。末筆となりますが皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

「違法薬物密輸入事件」では、テレビニュースでも取り上げられたとおり、被疑者約200人を検挙し、覚醒剤約五三〇グラム(未端価格約三五〇億円)を押収する成果を上げることができました。一方、神奈川県全域に目を転ずると依然として「特殊詐欺」が多く発生したほか、著名人などを騙った「SNS型投資詐欺」や、恋愛感情を抱かせて金銭をだまし取る「ロマンス詐欺」が急増しており、予断を許さない状況となっております。さらに、首都圏では「トリクルアップ(匿名・流動型犯罪グループ)」が関わる「闇バイト」による強盗殺人などの凶悪事件が頻発し、地域住民の方々が不安を感ずられておられるなど治安対策上の新たな脅威も生じています。そうした中で、今年は八月二〇日から三日間にわたり「第九回アフリカ開発会議(TICAD9)」が横浜で開催されます。国内外の多くの要人が集まる会議であり、安全の確保と不審者・不審物を発見するための大規模な警備と交通規制を実施いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

明けましておめでとございます。公益社団法人横浜港防犯協力会の皆様方におかれましては、平素から「安全で安心した暮らしを地域社会の実現」に向けた各種の防犯活動はもとより、警察行政全般にわたる御礼申し上げます。さて、昨年も皆様には、海上から観光・買物客へ特殊詐欺被害防止を呼びかける広報啓発活動や、「安全・安心まちづくり旬間」における防犯キャンペーンなどの活動にご協力いただきありがとうございます。その結果、当署管内の刑法犯の認知件数は一九五件(一月末現在)で、前年同期比「マイナス二四件」とすることができました。しかしながら、商業施設では万引きが多発したこと、店舗の方々へ万引きが発生しにくい店舗への構造変更についてご指導した結果、出入口を一時閉鎖し、防犯カメラの設置角度の変更、来店客への声かけなどの改善を図っていただくなどの一定の成果がありました。また、集客施設などの駐輪場において、オートバイのヘルメットに装着されたイヤホン(通話用の無線機器)の盗難が断続的に発生しましたが、継続的に捜査を積み上げたところ、被疑者の逮捕に至り、その後の発生は収まりをみせています。さらに、横浜税関、麻薬取締部及び警察本部と合同捜査を推進した

「観光と賑わいの港」では、これまで培ったクルーズ船発着港としての運営ノウハウ、船会社からの高い信頼を活かし、より一層クルーズ船誘致へ力を入れ、クルーズのお客様にも市内を回遊してもらえるよう、横浜ならではの魅力、体験を、船会社やお客様に発信していきます。「安全・安心で環境にやさしい港」については、二〇年度の脱炭素社会の実現に向け、年度内に策定する港湾脱炭素化推進計画に基づき、温室効果ガス排出削減を目標とした様々な取組を推進していきます。今後も、港湾の脱炭素化を先導し、国際競争力を強化していくため、国や事業者の皆様と連携して、カーボン

新年のご挨拶

横浜税関監視部長 横山 伸哉



謹んで新年のお慶びを申し上げます。公益社団法人横浜港防犯協力会員の皆様には、平素より横浜港にお

ける税関の取組・検査にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、我々税関はその使命の一つに「安全・安心な社会の実現」があり、不正薬物、銃砲等の社会悪物品、テロ関連物資、金地金の水際での密輸取締りに日々取り組んでおります。横浜税関においては、昨年四月メキシコからのコンテナ貨物から覚醒剤約五三〇kg、五月には小型船舶を利用して海上から引き上げて陸揚げしたコカイン約一七八kgを相次いで摘発しております。税関としては、これら巧妙化、多様化する密輸に対して効果的・効率的な水際取締りを実施するとともに、さらに強化していくことが課題となっております。このような不正薬物などの密輸状況に加えて、近年の国際情勢の悪化を受け、テロ対策の強化を図っていくことも重要となっております。本年四月に大阪・関西万博、八月には横浜市において第九回アフリカ開発会議が開催されます。税関としてもテロの未然防止のため、関係取締機関との連携を密にし、テロ関連物資等の水際取締りの徹底に取り組んでまいります。

また、横浜港への外航クルーズ船の入港もコロナ禍前に戻り、旅客の円滑な通関と厳格な取締りの両立が求められており、これに対しても関係機関の皆様と連携・協力し対応していく所存です。税関がこれらの課題に対応していくためには、貴協会をはじめとする民間事業者の皆様のご理解とご協力が重要でございます。日頃横浜港でお仕事をされる中で、不審な人物、車両等を見かけたなど、どのような些細な情報でも結構ですので、気付かれたことがありましたら税関に通報していただければ幸いです。結びに、公益社団法人横浜港防犯協力会及び会員の皆様方の益々のご発展とご健勝を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜市港湾局長 新保 康裕

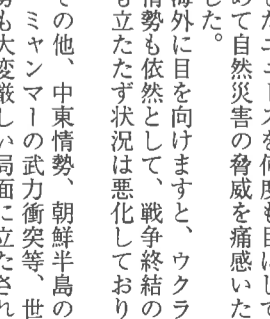


令和七年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。横浜港防犯協力会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より横浜港の振興、発展にご協力を賜りますとともに、防犯キャンペーン、毎月の「防犯の日」を中心とした巡回広報など、横浜港及びその周辺地域の犯罪のない「明るい港」づくりにご尽力いただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

「観光と賑わいの港」では、これまで培ったクルーズ船発着港としての運営ノウハウ、船会社からの高い信頼を活かし、より一層クルーズ船誘致へ力を入れ、クルーズのお客様にも市内を回遊してもらえるよう、横浜ならではの魅力、体験を、船会社やお客様に発信していきます。「安全・安心で環境にやさしい港」については、二〇年度の脱炭素社会の実現に向け、年度内に策定する港湾脱炭素化推進計画に基づき、温室効果ガス排出削減を目標とした様々な取組を推進していきます。今後も、港湾の脱炭素化を先導し、国際競争力を強化していくため、国や事業者の皆様と連携して、カーボン

新年のご挨拶

横浜水上交通安全協会 会長 藤木 幸吉



謹んで新春をお祝い申し上げます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。公益社団法人横浜港防犯協力会の皆様方には、今年のお正月もご家族と共に楽しくお過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。皆様方には平素より横浜港や地域の安心・安全な街づくりのため「防犯活動」にご尽力をいただき、心より御礼申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、元旦に石川県で震度七の地震が起こり能登半島に一時大津波警報が出され、八月には宮崎県で震度六弱の地震が発生し、南海トラフ初の「巨大地震」のニュースが流れる中、九月に再び能登半島に線状降水帯が発生したニュースを何度も目にし、改めて自然災害の脅威を痛感いたしました。海外に目を向けますと、ウクライナ情勢も依然として、戦争終結の目途も立たず状況は悪化しております。その他、中東情勢、朝鮮半島の緊張、ミャンマーの武力衝突等、世界情勢も大変厳しい局面に立たされております。一方、様々なスポーツの明るいニュースが災害のニュースとは対照的に我々に勇気そして笑顔を与えて

壁新聞にご利用ください。

くれました。
バリ五輪でメダルを獲得した日本選手団の活躍が、昨年前半の暗い世相に明るい光を照らしてくれました。

私共水上交通安全協会は、令和六年度の年間スローガン「安全は心と時間のゆとりから」に従い、横断歩道における歩行者優先、二輪車・自転車の交通事故防止、高齢者と子供を取り組んで参りましたが、昨年九月一日付で、中区が高齢者交通事故多発指定地域に指定され、警察や関係機関・団体との連携により、地域の特性を踏まえた取組を求められました。

当協会といたしましては、今後も悲惨な交通事故を一件でも無くすため横浜港防犯協会はもとより、市・中区・警察等関係機関のご指導とご協力をいただきながら、安心・安全な街づくりに向けて街頭キャンペーンや広報車パトロールを積極的に進めて参る所存でございます。

皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びになりますが、横浜港防犯協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。
新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜市中区長 小林 英二



新年明けましておめでとうございます。
横浜港防犯協会の皆様には、健康やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

藤木会長をはじめ、会員の皆様方には、日頃から市政・区政の推進に多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
貴会の活動地区である臨海部は、横浜港開港以来「日本の海の玄関口」

として、横浜そして日本発展の原動力となってきた港です。また、赤レンガ倉庫や大さん橋、横浜ハンマーヘッド等の臨港エリアは全国から多くの人が訪れる人気の観光スポットですが、一方で防犯対策上は非常に難しい地域となっております。

昨年は、振り込め詐欺や、還付金詐欺などを始めとする特殊詐欺に加え、所謂「闇バイト」などを利用した強盗による凶悪な被害が目立つ、より防犯意識が高まる一年でした。

このような状況の解決に向け、毎月「防犯の日」を中心とした広報パトロールや防犯キャンペーン、訓練、教室など、様々な活動を長年にわたり御尽力いただいております。
と、重ねて感謝を申し上げます。
区役所としましては、四警察署、防犯協会・防犯防犯協会と、犯罪に関する情報を共有するほか、引き続き犯罪の発生状況等を「安全・安心メール」として送信し、注意喚起を行ってまいります。あわせて、広報よこはまや横浜市の公式LINEなどでも防犯情報の発信に一層取り組んでまいります。

昨年一月には、四警察署・防犯協会・防犯防犯協会の皆様にご協力いただき、中区民祭り「ハローよこはま2024」を盛大に実施することができました。来場者への啓発グッズ配布など、防犯対策を紹介いただきましたことに感謝申し上げます。

中区は、令和九年に「区制一〇〇周年」を迎え、同年には「GREEN×EXPO 2027」通称「2027年国際芸術博覧会」が横浜で開催されます。この大きな節目、またビッグイベントに向けて、中区では機運醸成に取り組むとともに、「誰もが安心と活力を実感するまち中區に住んでよし、働いてよし、訪れてよし」という中區の基本目標の実現に向けて歩みを進めてまいります。住みよい街と明るい港を守るため、横浜港防犯協会、横浜水上警察署、関係団体・企業の皆様とともに引き続き防犯活動に取り組んで参る所存ですので、本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

横浜港防犯協会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

新年のご挨拶

横浜海上保安部長 松川 勝紀



新年あけましておめでとうございます。
横浜港防犯協会の皆様におかれましては、健康やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様には平素から当部が実施する海上保安業務に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げますとともに、日頃の防犯活動を通じて地域の安全・安心の実現に多大な貢献をされていることに敬意を表する次第です。

さて、昨年を振り返りますと、元旦に能登半島地震が発生し、さらには、世界的な温暖化、気候変動により、世界各地で豪雨災害が多発するなど、自然の脅威を改めて実感させられた年でありました。

他方で、新型コロナウイルス感染症拡大の収束により、社会活動、経済活動は活発化し、この横浜港においても多数の大型クルーズ船が入港し、各種イベントが開催されるなど、賑わいが戻って参りました。

当部におきましては、横浜海上防犯基地や巡視船の一般公開のほか、各種行事の実施を通じて、一般の方々へ海上防犯を含め海上保安業務の重要性の理解を深めていただく機会を多く持つことができたほか、一月には、各機関の協力のもと、横浜港水際危機管理対応合同訓練を実施し、水際対策を的確に推進することができました。

本年も横浜港は益々の賑わいを見せ、人、物の動きもさらに活発になるものと思われ、また、「国際コンテナ戦略港湾」として、急速に進展する船舶の大型化に対応するため、新本牧ふ頭の整備等の海上工事が進められており、さらには、八月には第九回アフリカ開発会議の開催も予定されています。

新年のご挨拶

一般社団法人横浜港ハブリゾート協会 会長 藤木 幸夫



港灣人の皆様、新年明けましておめでとうございます。
新年のあいさつに当たって、毎年日本人のノーベル賞受賞がいかにも嬉しき事か紹介して参りました。昨年は核兵器廃絶を訴え続けてきたノーベル平和賞を受賞されました。本日に嬉しく、誇らしい事でした。残念ながら我が国からの自然科学分野での受賞者はおられません。科学技術分野は先進性の指標でもあり、来年度こそは受賞者が出てくることを祈りましょう。

最近、科学技術分野での受賞者がいなくなったことは我が国全体の教育の問題が深刻化しているのではないかと心配されます。弊協会が進めている山下ふ頭の再開発に際して重要な考え、概念に教育という観点は、欠かせない要素であると認識しています。教育の要素を取り入れた再開発を目指して行きたいと思っております。

その山下ふ頭の再開発は、山中市長が横浜市港湾局に対して諮問し、「山下ふ頭再開発検討委員会」を一年前から開始して昨年八月には最終審議を終えて、昨年末、山中市長に答申されました。審議の結果、重要検討分野として一六分野にわたる項目が抽出されました。さらに我々港灣人としては、この答申の中に、「山下ふ頭の再開発は港湾機能を残して実施する」との文言が明記されました。この文言が明記されたことで、山下ふ頭は今後も横浜港の一部として開発されることとなり、安堵している次第です。

これに関連して、弊協会は二〇一九年以降、再開発を想定して何が再開発にふさわしいかを試すため本格

的に実証事業を行なって参りました。これまでの実証事業イベントはこの五年間に二〇件を超え、様々なイベント開催の経験を蓄積させて頂いています。今年は、これまでになく大きな規模のイベントも計画し、山下ふ頭にふさわしい再開発の方向性を見極める参考事例を広げていきたいと考えています。暫定地区(約一〇〇ha)を今後も多面的に利用して、再開発の参考となるように致します。こういったことを実際に誘致し実験することで国際貿易展示場・フェスティバル・コンサートなどのイベント事業の実績を積んで参ります。本年は、大規模なイベント開催を計画していますので、様々な人々も山下ふ頭に入ります。安全安心を保持するため横浜港防犯協会の会員の皆様、関係者の方々の協力の下、各種イベントを安全確保しながら実施させていただきます。

ところで、世界を俯瞰すると、昨年も大きな変化がありました。特筆すべきは、やはり米国におけるトランプ大統領の返り咲きでしょう。他方、地球的には気候変動の激化、資源の枯渇化、人口の劇的増加、紛争・戦争の増大が進み、人類は大きな課題を抱え、解決には一刻の猶予もなくなっています。これらの大問題は人類が丸ごと解決に取り組みることが必須ですが、米国大統領のトランプ氏の方向性は「米国だけ良ければ良い」という極端に利己的な考えのスタンスです。これでは地球的な問題解決には程遠くなるばかりです。

世界がこのような事態に陥っている状況であるからこそ横浜とりわけ横浜港域だけはしっかりと団結して行かねばならないと思っております。また、政治的には世界が不安定化して、対立が激しくなっており、心配なのが我が国における国際テロ発生懸念の高まりです。横浜港が率先してこのような重要な課題に取り組んでいくことが重要になるとも思います。

二〇二一年から、弊協会も横浜港防犯協会の新メンバーとして参画させて頂いてから四年目となりました。本年はアフリカ開発会議をはじめ、山下ふ頭では多くの大型イベントを実施して参ります。これらの国際会議・イベントが無事に終わるように、本協会の皆さと思っております。また、普段から横浜港の防犯、安全・安心の普及に努めてまいります。

今後も防犯協会の一員として波止場の本領を發揮して横浜港に侵入しようとする悪質な波を防いで行きたいと思っております。

新年のおめでたい日に際し、皆様のご多幸とご健勝を祈念致します。

謹賀新年

公益社団法人 横浜港防犯協会



個人(賛助)会員

- 藤木 幸夫
- 田中 由香志
- 花島 孝明
- 藤木 幸太
- 原田 龍次郎
- 酒井 裕介
- 笹岡 照二
- 吉岡 啓三
- 藤木 幸三
- 石川 敬一郎
- 松本 元
- 奥主 真仁
- 早川 雪雄
- 阿部 順也
- 青木 立志
- 田留 隆之
- 鈴木 幸夫
- 藤木 幸二
- 山田 高志
- 小林 英二
- 小寄 正明
- 酒村 友之
- 木村 幸太
- 藤木 博志
- 平田 隆晴
- 佐々木 真仁
- 奥主 立志
- 青木 雅彦
- 齊藤 昭夫
- 森枝 昭夫

(順不同・敬称略)

諸官庁ならびに諸団体より寄せられました年頭の挨拶掲載は紙面の都合上順不同となりましたことをご承知いただきます。(編集部)